



## パートナー協議会

### ■パートナー協議会とは

行政と住民が対等の立場で、望ましい道路構造を実現するため、共存共栄の精神（パートナーシップ）で道路整備を進めます。

**住民の役割**：地元のニーズ・意向を組み入れた満足度の高い道路構造について検討を行います。

**行政の役割**：専門的知識や設計方法などの情報を提供し、協議会全体の調整を行います。

**学識者の役割**：専門的な知識等を背景に客観的な意見や情報の提供を行います。



### ■課題と整備方針



塩津浜（現況）

#### 塩津浜地区の課題

- 積雪時に発生する渋滞
- 車道が狭い
- カーブの見通しが悪い
- 歩道がない区間が多い

#### 整備方針

- 自動車が安全に通行できる環境の確保
- 北陸道通行止め時の代替機能強化
- 救急体制の強化を支える対応
- 安心・安全に通行できる歩道の確保
- 積雪時における円滑な交通の確保
- 地域活性化を支援

## 塩津街道 塩津の道の歴史

### ■「塩津」の由来

「塩津」という地名には、「塩のない近江に、塩が入ってくる港」という意味が込められているといわれています。塩津を北のみなど、大津を南のみなどにして、北陸から京都・大阪までを結んだ道が、塩津街道と呼ばれる道です。江戸時代には物流の拠点として賑わい、塩津は大きな宿場町でした。



塩津街道の街並み

### ■丸子船

琵琶湖は海に比べて水深が浅く、また波のうねりが海とは全く違います。そんな琵琶湖の性質に適した船が「丸子船」と呼ばれる船です。平たい船底と、帆柱の位置が一般の船に比べてかなり後部にあるのが特徴です。最盛期の江戸時代中期には、1,400隻もの丸子船が琵琶湖を行き交っていたといわれています。



丸子船の再現

### ■平清盛による道の整備

塩津街道のうち、最も通行が困難といわれたのが福井県と滋賀県の県境にある深坂峠です。平安末期、平清盛が琵琶湖と日本海を結ぶ運河を計画し、長男の越前国司であった平重盛にその工事を任せたとされています。しかし、深坂峠でその工事は難航し、ついにその計画は現代でも実現していません。

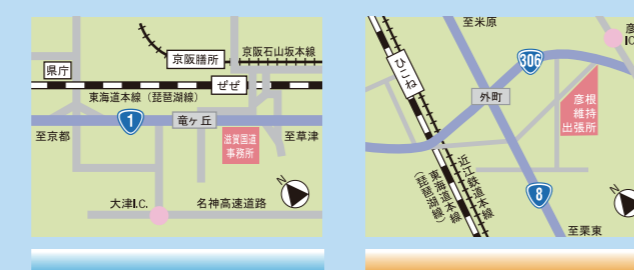


現在の深坂峠

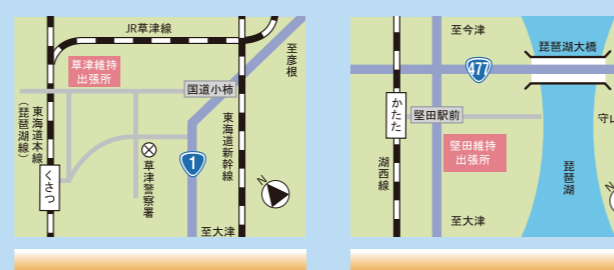
## 故郷のもてなしの場

### ■「塩津海道あぢかまの里」

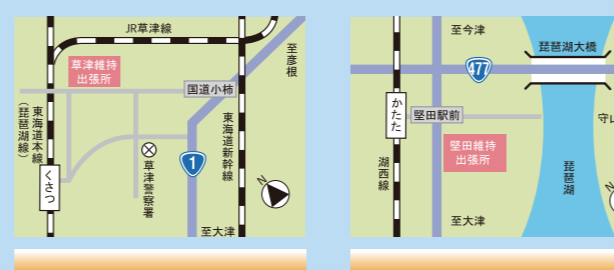
水運、丸子船の文化を持つ「みなとまち」であった塩津に「この町で獲れ、この町で加工したものだけ」にこだわった特産品販売所・お食事処の「奥びわ湖水の駅」が、平成17年10月に開業しました。そして、平成21年4月に道の駅「塩津海道あぢかまの里」として登録されました。



**滋賀国道事務所** ①②③④⑤  
JR膳所駅より徒歩約5分  
〒520-0803 大津市電が丘4-5  
TEL.077-523-1741 (代)  
home page <https://www.kkr.mlit.go.jp/shiga/>



**彦根維持出張所** ⑥⑦  
JR彦根駅より徒歩約15分  
〒522-0009 彦根市外町78  
TEL.0749-22-1140 (代)



**草津維持出張所** ⑧⑨  
JR草津駅より徒歩約20分  
〒520-3025 草津市中沢2-12-30  
TEL.077-562-0842 (代)



**堅田維持出張所** ⑩⑪  
JR堅田駅より徒歩約5分  
〒520-0242 大津市本堅田4-15-3  
TEL.077-572-1580 (代)

## 一般国道8号

# 塩津バイパス

安心と安全と協働の道づくり



国土交通省 近畿地方整備局  
滋賀国道事務所

## 事業概要

一般国道8号は、新潟市から京都市に至る路線で、北陸と京阪神の経済圏を結ぶ主要幹線道路であり、滋賀県下では、湖北地域から湖東地域にかけて主要都市を南北に連絡する重要な道路です。

しかし、琵琶湖北部の一般国道8号は、幅員が狭く急カーブが連続し、さらには落石や法面崩落の危険性があることから、異常気象時通行規制区間に指定されていました。また、人家連担地域を通過するにも関わらず、歩道の未整備区間も多く、交通安全面で課題の多い道路です。

これらの課題を解消するために塩津バイパス3.5kmが計画されました。

## 計画諸元

起 点：ながはま にしあざいちょうしおつはま  
ながはま 西浅井町塩津浜  
終 点：ながはま きのしとちようほんのうら  
ながはま 木之本町飯浦  
標準幅員：W=17.0m  
最小曲線半径：R=205  
最急縦断勾配：i=2.5%  
道路規格：第3種第2級  
設計速度：V=60km/h

## 事業の経緯

昭和59年度：事業着手  
昭和60年度：用地買収  
平成元年度：工事着手  
平成8年度：2工区（平成8年10月28日）開通  
平成15年度：1工区（第1回パートナー協議会）  
平成16年度：1工区（第2回～第7回  
パートナー協議会）  
平成26年度：1工区（平成27年3月29日）  
0.9km開通

